

4 市町村保険者に係る保険料(税)の状況

(1) 調定の状況

令和5(2023)年度における保険税の現年度分調定額は、378 億 9,182 万円で前年度より 19 億 600 万 7 千円(対前年度比 4.79%)減となっている。

また、1世帯当たりの調定額は 14 万 6,866 円で前年度より 2,144 円(対前年度比 1.44%)減となっており、1人当たりの調定額は、9 万 5,844 円で前年度より 242 円(対前年度比 0.25%)増となっている。

なお、調定額ベースでの平均賦課割合(医療給付費分)は、応能:応益=51.51:48.49であり、応益割が前年度より 0.15 ポイント減となっている。

(2) 収納の状況

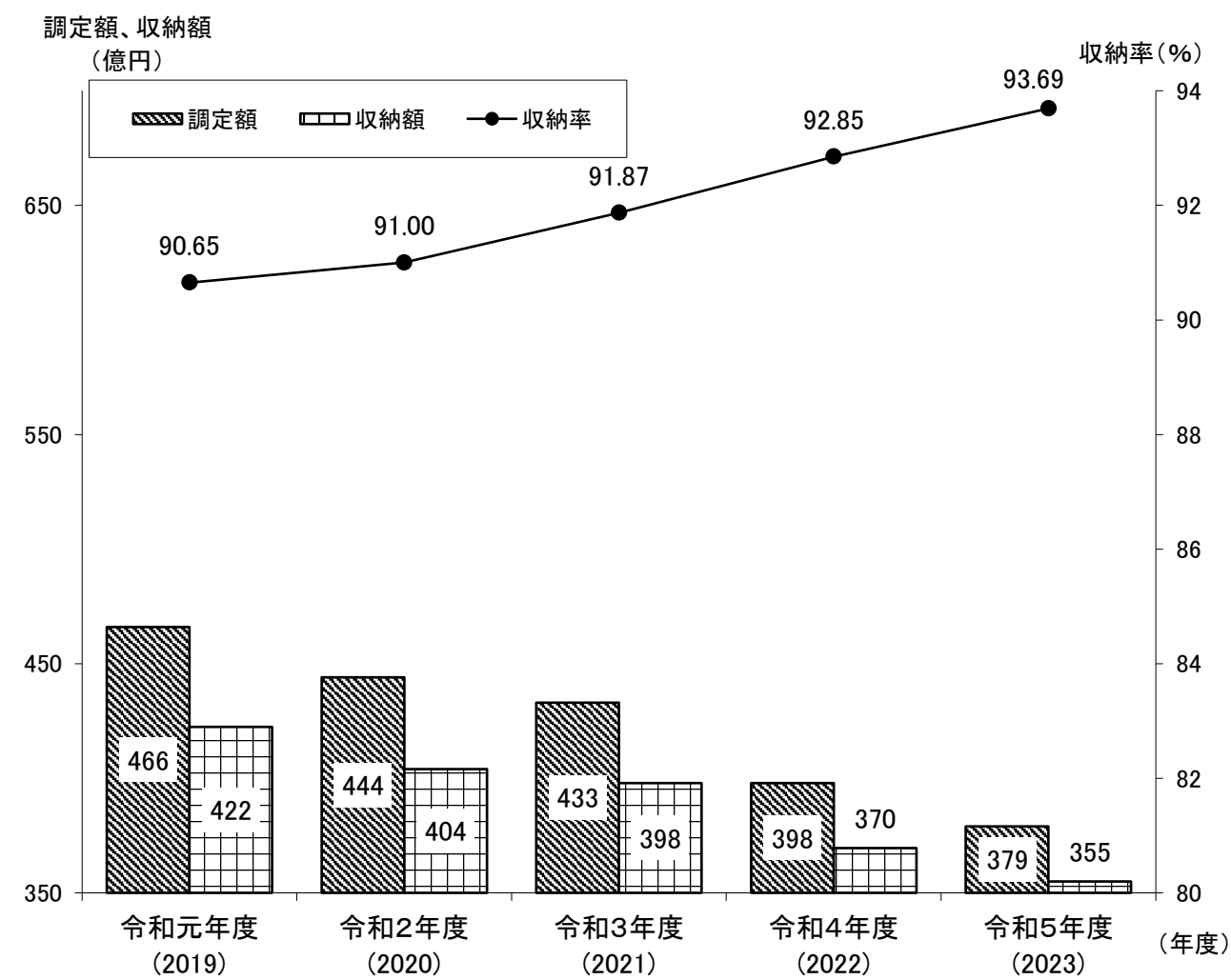
令和5(2023)年度における保険税の収納額は、376 億 4,703 万 5 千円で、前年度より 17 億 8,652 万 1 千円(対前年度比 4.53%)減となっている。

その内訳は、現年度分が 355 億 11 万 9 千円で前年度より 14 億 5,217 万 3 千円(対前年度比 3.93%)減、滞納繰越分が 21 億 4,691 万 6 千円で、3 億 3,434 万 8 千円(対前年度比 13.47%)減となっている。

また、現年度分の1世帯当たりの収納額は 13 万 7,596 円で、前年度より 759 円(対前年度比 0.55%)減となっており、1人当たりの収納額は、8 万 9,795 円で、前年度より 1,029 円(対前年度比 1.16%)増となっている。

なお、収納率は合計が 79.58%で前年度より 1.95 ポイント増となっており、現年度分が 93.69%で前年度より 0.84 ポイント増となっている。

図4 保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村、現年度分)



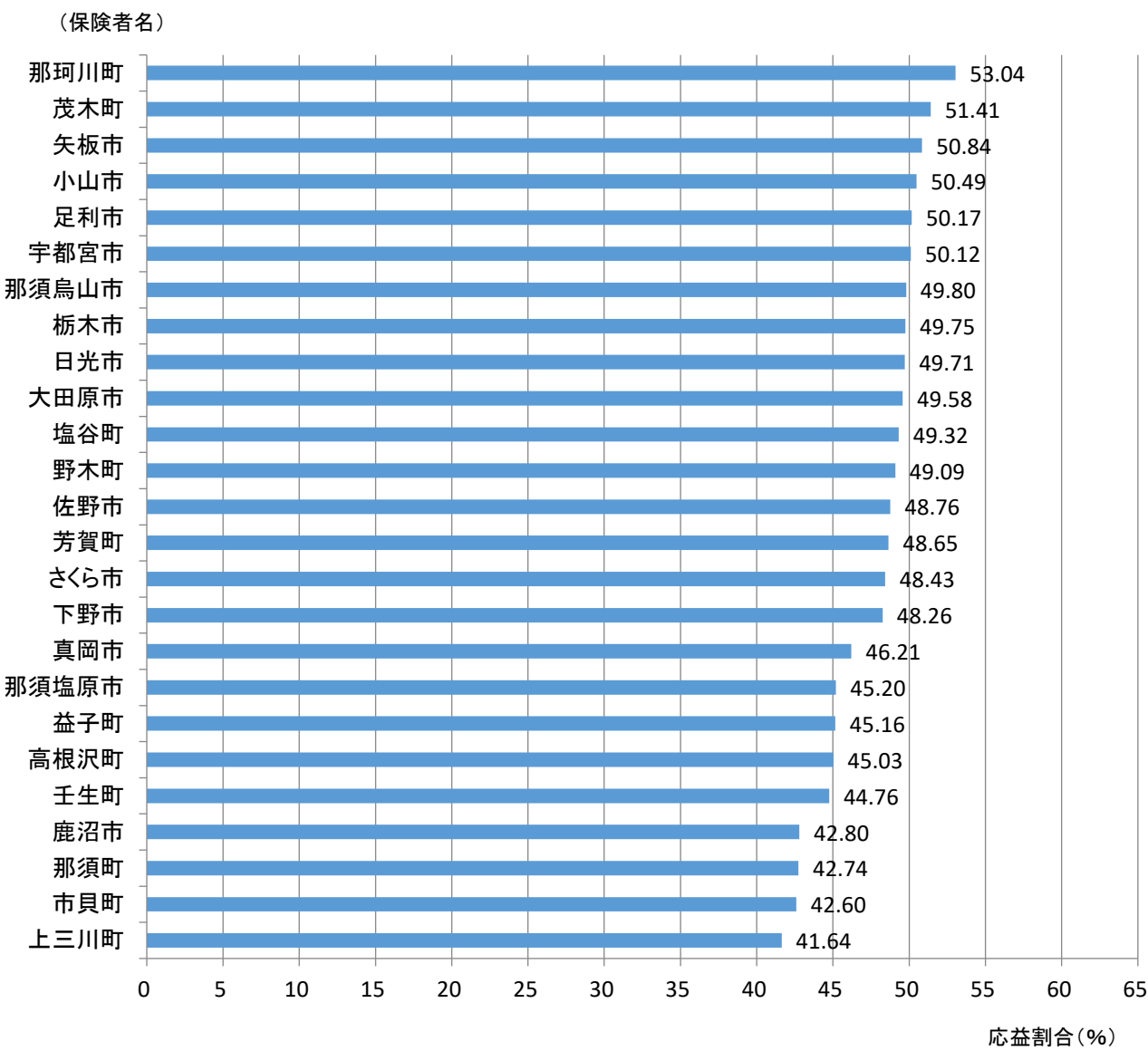
保険料(税)調定額、収納額、収納率の推移(市町村)

(単位: 千円、%)

年度	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)
収納額	43,750,456	42,995,056	41,737,655	39,433,556	37,647,035
現年度分					
調定額	44,401,726	43,302,412	42,093,355	39,797,827	37,891,820
収納額	40,404,232	39,782,948	38,968,144	36,952,292	35,500,119
収納率	91.00	91.87	92.58	92.85	93.69
1世帯当たり(現年度)					
調定額	158,895	156,419	153,551	149,010	146,866
収納額	144,590	143,706	142,151	138,356	137,596
1人当たり(現年度)					
調定額	97,709	97,510	96,928	95,602	95,844
収納額	88,912	89,584	89,732	88,766	89,795

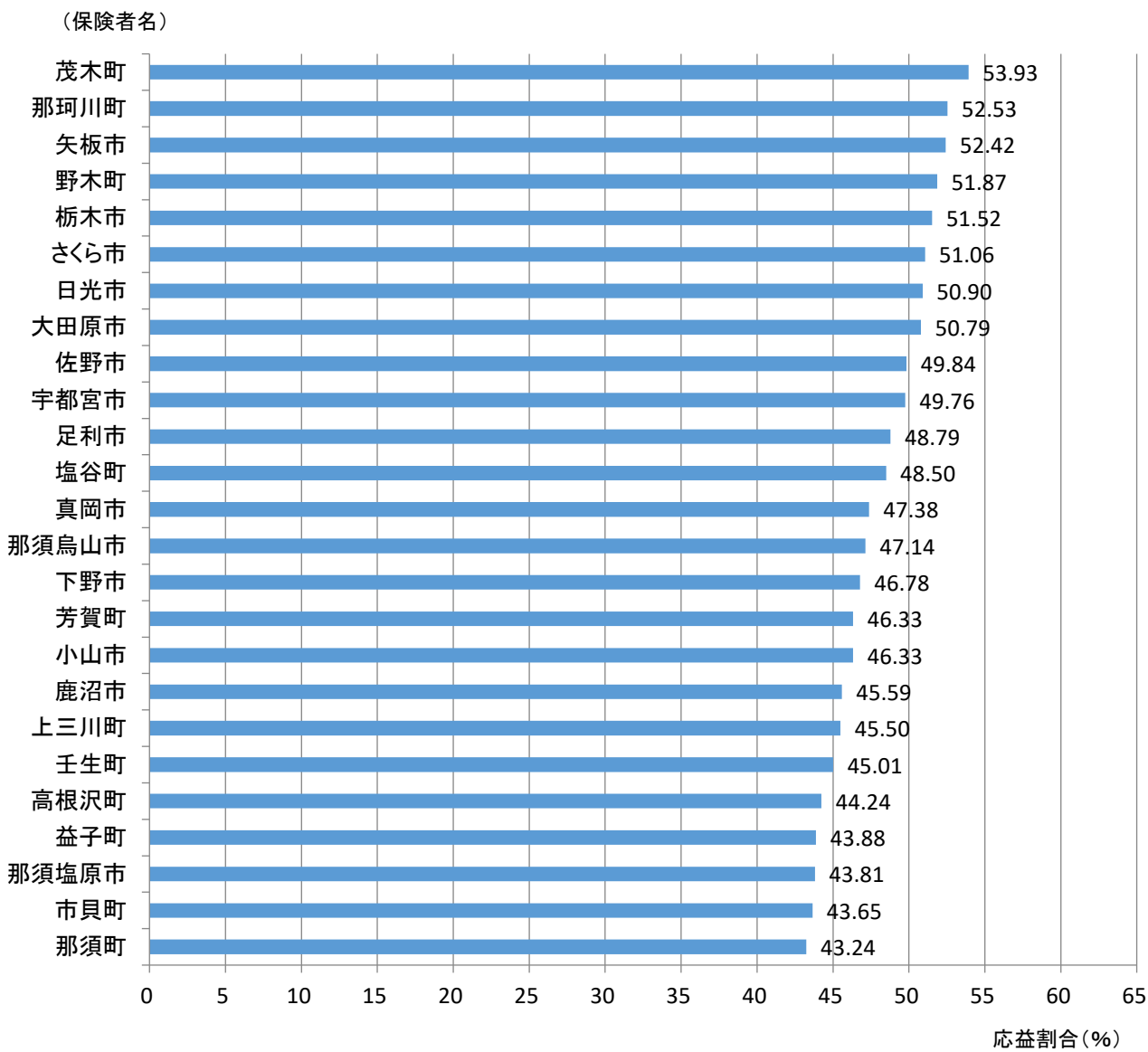
※調定額は居所不明者分調定額を含む。

図5 保険者別応益割合の状況(市町村、医療給付費分)



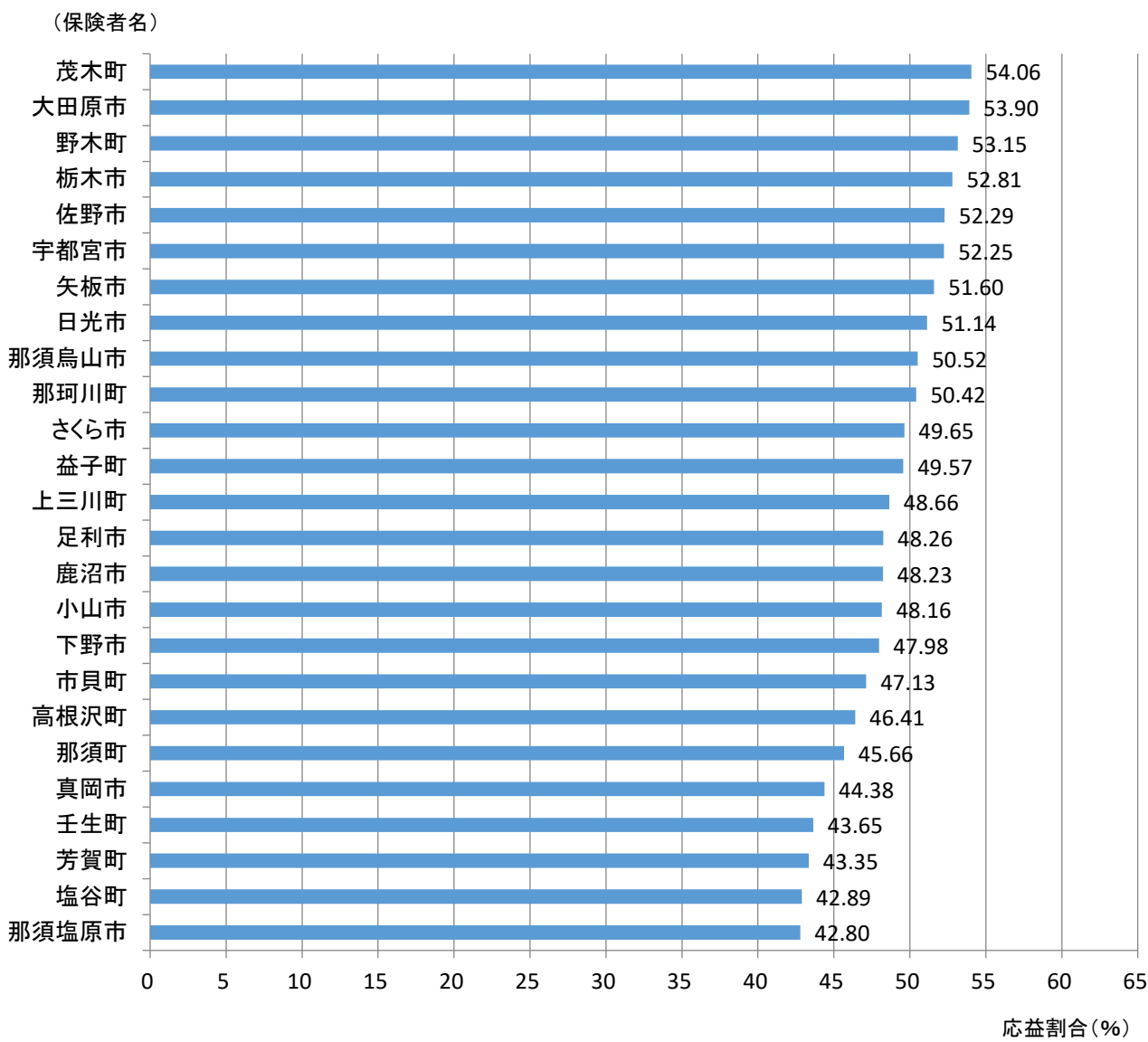
※賦課割合(調定額ベース)の応益割合の計算式:
(均等割+平等割)／(算定額計-限度超過額)
一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算

図6 保険者別応益割合の状況(市町村、後期高齢者支援金分)



※賦課割合(調定額ベース)の応益割合の計算式:
(均等割+平等割)÷(算定額計-限度超過額)
一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算

図7 保険者別応益割合の状況(市町村、介護納付金分)



※賦課割合(調定額ベース)の応益割合の計算式:
(均等割+平等割)÷(算定額計-限度超過額)
一般被保険者分+退職被保険者等分の算定額から計算